PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
2026 年 11 月 24 日

元 JICA 海外協力隊員の星野達郎さん（株式会社 NIJIN 代表）「世界の傑出した若者 10 人（TOYP 2026）」に選出

協力隊経験が原点、誰も取り残さない教育の実現に挑戦



「世界の傑出した若者 10 人（The Outstanding Young Persons of the World: TOYP）2026」授賞式に登壇する星野さん（左端）

JICA 海外協力隊の帰国隊員である株式会社 NIJIN 代表取締役の星野達郎さんが、国際青年会議所（Junior Chamber International: JCI）が選出する「世界の傑出した若者 10 人（The Outstanding Young Persons of the World: TOYP）2026」に選ばれ、11 月 15 日（日）の授賞式に登壇しました。TOYP は、世界中の若者の優れた功績や社会への貢献を顕彰する国際的なアワードで、これまでにも各国の社会変革を担うリーダーが選出されてきました。

星野さんは教育分野で活動する株式会社 NIJIN を創業し、不登校児童生徒の学びの機会創出や、誰もが自分らしく学べる教育の実現に向けた取組を展開しています。その社会的インパクトや先進的な取組が高く評価され、今回の受賞につながりました。

■海外協力隊での経験が現在の活動の原点に

星野さんは大学卒業後、埼玉県で公立小学校の教員として勤務されたのち 2013 年～2015 年の 2 年間、グアテマラで青年海外協力隊の小学校教育隊員として活動されました。

現地では子どもたちや教員、地域の方々と向き合いながら教育活動に取り組み、多様な価値観や文化の違いを乗り越えて協働する経験を積みました。現地の人々とともに課題に向き合い、自ら考え行動しながら解決策を模索した経験は、帰国後の起業や、教育課題への取り組みにも大きな影響を与えました。



活動当時の星野達郎さん(右)

現在は株式会社 NIJIN の代表として、不登校児童生徒をはじめ、さまざまな背景を持つ子どもたちの学びの機会創出に取り組んでいます。今回の受賞は、そうした教育分野における先進的な取組と社会への貢献が国際的に評価されたものです。

JICA 海外協力隊は、開発途上国の方々と生活を共にしながら、教育、保健医療、農業、スポーツ、コミュニティ開発など 170 以上の職種・分野で活動するボランティア事業です。現場で培われた経験や価値観は、帰国後もさまざまな分野で生かされており、星野さんの活躍もその一例です。

■ 星野達郎さんからのコメント



このたびは、「世界の傑出した若者 10 人」に選出いただき、大変光栄です。
私の原点は、JICA 海外協力隊としてグアテマラで過ごした 2 年間にあります。言葉も文化も違う場所で子どもたちと向き合う中で、「違い」は壁ではなく、乗り越えた先に新しい景色が広がるものだと学びました。その経験が、今の活動につながっています。学校に合わず、学ぶ場所を失ってしまう子どもたちに、自分らしく学べる場所を届ける。この挑戦を、これからも続けていきます。

（株式会社 NIJIN 代表取締役 星野達郎）

■星野さんの活動紹介動画

教育が国の未来を創る。仕組みから日本の教育を変えていく／株式会社 NIJIN 代表取締役 星野達郎：
https://www.youtube.com/watch?v=Xg6tEwduYD8&t=7s

■JICA 海外協力隊について

JICA 海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する国民参加型事業の一つです。開発途上国からの要請に基づき、現地の人々と共に暮らし、有する技術・知識・経験を生かして草の根のレベルで課題解決に貢献するボランティアを派遣しています。
詳しくは https://www.jica.go.jp/volunteer/をご覧ください。

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区）は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）の中核を担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。詳しくは https://www.jica.go.jp/index.html をご覧ください。